

# 「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 6 月 10 日

|          |         |   |    |            |
|----------|---------|---|----|------------|
| 仕事の内容    | 移動図書館事業 |   |    |            |
| 担当部署・課長名 | 中央図書館   | 課 | 事業 | 係 課長名 當摩 弘 |

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 生涯学習の充実

(総合計画書 35 ページ)

|              |  |           |          |   |
|--------------|--|-----------|----------|---|
| 予算名          | 款 10 教育費   | 項 4 社会教育費 | 目 3 図書館費 | 事業 2 中央図書館事業費   |
| 1<br>この仕事の目的 | ① 誰(何)を対象にしていますか。<br>東大和市立図書館利用対象者                                   |           |          | ① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)<br>東大和市民<br>東大和市に在勤・在学の方<br>→ 相互利用協定を結んでいる自治体在住者(平成28年3月31日現在 東村山市・武蔵村山市・立川市) |
|              | ② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]<br>図書館から遠い地域の方が、身近な場所で図書等を利用することができるようになる。 |           |          | ② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)<br>→ 移動図書館利用者数/人口  |
|              | ③ そのために何をしましたか。<br>移動図書館「みずうみ号」の運行                                   |           |          | ③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)<br>→ ①運行回数<br>②貸出点数   |

|            |      | 単位        | 平成25年度実績 | 平成26年度実績       | 平成27年度実績      | 平成28年度目標       | 平成29年度目標 |
|------------|------|-----------|----------|----------------|---------------|----------------|----------|
| 2<br>指標の推移 | 対象指標 | ①の数値      | 人        | 85,382         | 86,092        | 86,044         |          |
|            | 成果指標 | ②の数値      | %        | 1              | 1             | 1              |          |
|            | 目 標  | ②の目標値     |          |                |               |                |          |
|            |      | 目標値設定の考え方 |          |                |               |                |          |
|            | 活動指標 | ③の数値      | 回        | ①111<br>②3,130 | ①97<br>②1,846 | ①100<br>②2,558 |          |

| 3 経費    |              | 事業費     | 円       | 1,030,155 | 775,547   | 1,184,690 | ※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。<br>人件費(再任用職員以外)<br>年間単価は、8,233,000円<br>時間単価は、4,200円<br>で計算してください。<br>【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。) |
|---------|--------------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|---|
| 財源      | 一般財源         | 円       | 751,590 | 529,093   | 905,493   |           |   |
|         | 特定財源         | 円       | 278,565 | 246,454   | 279,197   |           |   |
|         | (うち受益者負担)    | 円       | 0       | 0         | 0         |           |   |
| 人件費(目安) | 所要人数(再任用以外)  | 人       | 0.1     | 0.1       | 0.1       |           |   |
|         | 所要人数(再任用)    | 人       | 0.1     | 0.1       | 0.1       |           |   |
|         | 職員人件費(再任用以外) | 円       | 823,300 | 823,300   | 823,300   |           |   |
|         | 職員人件費(再任用)   | 円       | 299,900 | 299,900   | 299,900   |           |   |
|         |              | 事業費+人件費 | 円       | 2,153,355 | 1,898,747 | 2,307,890 |   |

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 4 環境変化 | この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。<br>昭和52年 移動図書館「みずうみ号」運行開始(昭和59年 中央図書館開館)<br>「図書館法」第三条『図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に治い、次に掲げる事項の実施に努めなければならない』第5項『分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと』 |  |
|        | 開始当初と比較し、状況の変化はありますか。<br>・利用者要求の多様化<br>・巡回ステーション数及び場所の変更<br>・中央図書館、地区館(桜が丘、清原)の整備  |  |

|          |   |  |
|----------|---|--|
| 5 市民等の意見 | この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について<br>・(市民より)「近くに来てもらって助かる」との声があった。<br>・(市民より)「巡回場所を増やして欲しい」(自分の居住地の近くにも来て欲しい)との要望があった。<br>・(利用者の実態)高齢者や親子連れの利用が多い。 |  |
|----------|---|--|

|           |         |   |    |   |     |      |
|-----------|---------|---|----|---|-----|------|
| 仕 事 の 内 容 | 移動図書館事業 |   |    |   |     |      |
| 担当部署・課長名  | 中央図書館   | 課 | 事業 | 係 | 課長名 | 當摩 弘 |

|  |  |   |              |
|--|--|---|--------------|
| 6<br>市民協働  | (1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)   |   |              |
|  | <table border="1"> <tr> <td>取り組みは無い</td> <td>取組手法</td> <td> 【取組手法の種類】<br/> ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成<br/> ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他( ) </td> </tr> </table> | 取り組みは無い   | 取組手法         |
| 取り組みは無い  | 取組手法   | 【取組手法の種類】<br>①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成<br>⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他( ) |              |
| (2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。 |  |   |              |
| 7<br>課<br>題  | この仕事を振り返り、課題を記入してください。<br>車輛の老朽化<br>職員数の不足<br>職員の経験・知識の蓄積不足  |   |              |
| 8<br>今<br>後<br>の<br>方<br>向<br>性                    | (1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)<br>車輛の買い替え<br>人員増<br>適切な人員配置   |   |              |
|  | (2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。<br>市民からのニーズ、費用対効果、代替手段の有無などを調査する。<br>車輛の更新が必要な場合は、購入費を予算化するとともに、運行方法、経路等の見直しを行う。                         |   |              |
|  | (3) 改革・改善案による期待成果<br>上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。   |   |              |
| 成<br>果   | 成果を向上させる。  | 経<br>費  | 仕事の経費を増加させる。 |